



①



②



③



④

写真 静修小学校 資母小学校 高橋小学校 城崎小学校

5月20日

# 「生きもの共生の日」特別授業

～ヒナ誕生の日の感動と命への共感を胸に～

昨年の5月20日、国内の自然界では43年ぶりとなるコウノトリのヒナ誕生に日本中が沸きました。苦難の歴史を受け継がれてきた命が、自らの力で新たな命を誕生させた日。あの感動を将来にわたって留めおくため、市では5月20日を「生きもの共生の日」(市の記念日)としました。

毎年、この日を中心に啓発事業を行い、人と生きものとの共生について見つめ直す機会とします。

初年度の今年も、市内の小学校で、地域の生きものや環境について身近な「いのち」をテーマに特別授業を行っています。

《問合せ》コウノトリ共生課 ☎21 - 9017



昨年、国内の自然界で43年ぶりに誕生したコウノトリのヒナ = 平成19年5月29日撮影、百合地区の人工巣塔(写真提供: 県立コウノトリの郷公園)

## 静修小 (5月20日)

### 静修ウオッチ隊 『用水路探検』

(3・4年生17人)

静修には、江戸時代中期に造られ、約30年間で、日高の大動脈として大地を潤し続ける道場用水が流れています。「静修ウオッチ隊」ののぼり旗を手にした子どもたちは、家のすき間や雑草の茂みの中、学校敷地の真ん中を横切る水路など、迷路のような約3キロの道のりを探検。命と暮らしを支える水の流れを追いました。今回は、水が育む生きものたちを調査します。



## 高橋小 (5月20日)

### 出石川・矢川の 生きもの調査

(全校児童51人)

河川改修のため保護していたオオサンショウウオが放流された出石川に入り、生きもの調査を行いました。短時間のうちに、カワニナ・カワムツ・ヤゴ・ヨシノボリなどたくさん生きものを捕獲。5年生は別に支流・矢川での調査も行い、生息状況を比較検討しました。「オオサンショウウオがいるきれいな川の自然を守っていきたい」。子どもたちは意欲満々でした。

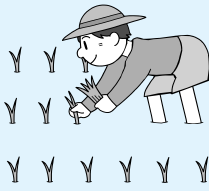


## 資母小 (5月23日)

### 減農薬栽培の 田植えに挑戦

(3・5年生29人)

おいしいお米だけでなく皆さんの命を育む田んぼで、その不思議な力を体感。地元農業者の指導を受けながら、減農薬栽培の田植え作業に取り組みました。ヌルヌルとした泥の触感に大歓声を上げながら苗を差し込む子どもたち。今後は、自分たちが植えた稲の成長を見ながら、田んぼに生きるさまざまな命の存在を調べます。



## 城崎小 (5月29日)

### ヒナマイトトンボ について学ぶ

(4年生34人)

桃島池に生息する希少種・ヒナマイトトンボの生態を知り、それを支える自然環境について学びました。座学のあと、現地にトンボ探しに出かけた子どもたち。残念ながら発見はできませんでしたが、普段とは違う目線でヨシ原を見つめました。6月28日・29日には「全国トンボ市民サミット豊岡大会」が城崎で開催されます。小さな命をさらに深く探ってみよう!



7月31日 昨年の巣立ち記念日に

## 普天間かおり『守りたいもの』ライブ & コウノトリ学術研究補助事業成果発表会を開催します

命への「共感」に続いては「応援」!

昨年5月20日に誕生したヒナは、7月31日に無事に巣立ちを迎えました。親鳥とヒナに送られた熱いエールは、「命への応援」に他なりません。あれから1年、巣立ちの日の感動を思い出しながら「応援」をテーマに記念イベントを開催します。

開催日 7月31日(木)  
入場料 無料



普天間かおりさん  
巣立ち映像のBGMとして流れた「守りたいもの」が話題に!

内容

学生と地域への応援!

〔但東市民センターホール〕

18:00~普天間かおりミニライブ

18:45~豊岡をフィールドに研究活動を行う学生たちによる成果発表会

みんなを応援!

〔市役所前〕

19:00~「あなたの『守りたいもの』は?」  
参加型イベント

20:00~普天間かおり野外ライブ

「命への応援!~守りたいもの~」  
時間は変更する場合があります。

その他 イベントに合わせ、あなたの『守りたいもの』への応援メッセージを募集します。詳細は、市ホームページをご覧ください。

《問合せ》コウノトリ共生課 ☎21-9017